



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月31日

上場会社名 虹技株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5603 URL <https://www.kogi.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 幹雄  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務担当 (氏名) 谷岡 宗 TEL 079-236-3221  
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	19,348	△1.2	568	8.6	491	6.5	386	33.5
2023年3月期第3四半期	19,576	17.3	522	—	461	—	289	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,495百万円 (29.8%) 2023年3月期第3四半期 1,152百万円 (257.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	118.30	—
2023年3月期第3四半期	88.24	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	34,283	16,420	38.0	3,982.56
2023年3月期	32,458	15,036	36.4	3,614.14

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 13,022百万円 2023年3月期 11,817百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,100	△2.3	810	0.3	630	△12.1	480	2.8	146.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	3,362,163株	2023年3月期	3,362,163株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	92,287株	2023年3月期	92,287株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	3,269,876株	2023年3月期3Q	3,283,169株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されるなど、経済活動の正常化に向けた動きが見られたものの、ウクライナ情勢の長期化による原材料や原油価格の高騰、中国の景気減速などにより、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このようなもとで当社グループは、2022年度を初年度とする第7次3カ年計画の2年目にあたり、『C&Eへのこだわり』をキーワードに、①脱炭素社会に向けて、②DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進、③人材育成、の3点を重点課題に設定し、より強固な経営基盤の構築と成長戦略の具現化に努めてまいりました。

このような事業環境において当社グループは、中国国内で自動車用プレス金型鋳物の生産・販売を手がける天津虹岡鋳鋼有限公司および南通虹岡鋳鋼有限公司の業績が、中国景気の減速を背景に低調に推移した一方、国内では原材料や電力料の高騰への対応として、製品の販売価格是正による収益の確保並びにコスト改善諸施策の一層の推進に努めた結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高 193億4千8百万円（前年同期比 1.2%減）、営業利益 5億6千8百万円（前年同期比 8.6%増）、経常利益 4億9千1百万円（前年同期比 6.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益 3億8千6百万円（前年同期比 33.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① Casting Field

鋳型は、鍛鋼用鋳型の需要が好調で、売上高は、前年同期を上回りました。ロールは、主要顧客先の国内電炉メーカー向け案件や輸出案件の受注確保に努め、売上高は、前年同期を上回りました。自動車用プレス金型鋳物は、各主要顧客先のカーメーカーや金型メーカーの需要が伸び悩み、売上高は、前年同期を下回りました。大型産業機械用鋳物は、大型工作機械、プレス機および減速機向けが好調で、売上高は、前年同期を上回りました。小型鋳物は、土木用鋳物が好調で、売上高は、前年同期を上回りました。デンスパーは、主要顧客先の建設機械および産業機械向け等の需要が低迷し、売上高は、前年同期を下回りました。中国国内で自動車用プレス金型鋳物の生産・販売を手がける天津虹岡鋳鋼有限公司および南通虹岡鋳鋼有限公司は、中国景気の減速や競合他社との競争激化により、売上高は、前年同期を下回りました。

この結果、当事業の売上高は、155億5千1百万円（前年同期比 7.4%減）、セグメント利益 4億5千5百万円（前年同期比 7.9%減）となりました。

#### ② Environment Field・環境エンジニアリング

環境装置事業は、大型案件の工事が進捗したことにより、売上高は、前年同期を上回りました。送風機は、民間設備投資が堅調で、売上高は、前年同期を上回りました。環境・省エネ商品のトランスバクターは、半導体関連向けの需要が好調で、売上高は、前年同期を上回りました。

この結果、当事業の売上高は、32億6千2百万円（前年同期比 61.6%増）、セグメント利益 1億6千3百万円（前年同期比 285.1%増）となりました。

#### ③ Environment Field・機能材料

KCメタルファイバーは、自動車向け摩擦材の需要が低迷し、売上高は、前年同期を下回りました。

この結果、当事業の売上高は、5億1千5百万円（前年同期比 31.4%減）、セグメント利益 2百万円（前年同期比 93.9%減）となりました。

#### ④ その他の事業

当事業の売上高は、1千8百万円（前年同期比 5.4%増）、セグメント損失 △3百万円（前年同期 セグメント損失△0百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、212億7千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億6千5百万円増加いたしました。これは、主として現金及び預金が6億3千4百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が5億4千5百万円増加したことなどによります。

固定資産は、130億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億5千9百万円増加いたしました。これは、主として投資その他の資産が6億8千3百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、342億8千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億2千4百万円増加いたしました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、134億7千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億4千5百万円減少いたしました。これは、主として支払手形及び買掛金が7億1千5百万円減少したことなどによります。

固定負債は、43億8千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億8千6百万円増加いたしました。これは、主として長期借入金が15億3千万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、178億6千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億4千1百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、164億2千万円となり、前連結会計年度末に比べ13億8千3百万円増加いたしました。

この結果、自己資本比率は38.0%（前連結会計年度末は36.4%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の業績予想につきましては、本日発表の「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり、当第4四半期連結会計期間以降、中国国内において引き続き景気の減速により環境が厳しい中、受注活動に注力した結果、売上が順調に推移することが見込まれることと、国内における製品の販売価格の是正による収益の確保と更なるコスト改善の進捗により、売上高、利益とも前回発表の予想を上回る見通しであるため、上方修正しております。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,101	2,735
受取手形、売掛金及び契約資産	10,874	11,420
電子記録債権	2,577	2,586
商品及び製品	1,508	1,455
仕掛品	1,270	1,458
原材料及び貯蔵品	1,524	1,481
その他	154	137
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	20,010	21,275
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,967	2,938
機械装置及び運搬具（純額）	4,026	3,942
土地	1,220	1,220
その他（純額）	1,433	1,402
有形固定資産合計	9,646	9,503
無形固定資産	264	282
投資その他の資産		
投資有価証券	2,389	3,095
長期貸付金	1	2
繰延税金資産	1	2
その他	144	120
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,536	3,220
固定資産合計	12,448	13,007
資産合計	32,458	34,283

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,773	3,058
短期借入金	7,611	8,240
未払法人税等	213	15
賞与引当金	292	133
その他	2,726	2,025
流動負債合計	14,618	13,473
固定負債		
長期借入金	1,593	3,123
繰延税金負債	372	784
退職給付に係る負債	547	200
その他	289	281
固定負債合計	2,802	4,389
負債合計	17,421	17,863
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,002	2,002
資本剰余金	602	602
利益剰余金	7,742	8,014
自己株式	△98	△98
株主資本合計	10,248	10,520
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	969	1,461
繰延ヘッジ損益	△0	△3
為替換算調整勘定	609	865
退職給付に係る調整累計額	△8	177
その他の包括利益累計額合計	1,569	2,501
非支配株主持分	3,219	3,397
純資産合計	15,036	16,420
負債純資産合計	32,458	34,283

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	19,576	19,348
売上原価	16,904	16,699
売上総利益	2,672	2,648
販売費及び一般管理費	2,149	2,080
営業利益	522	568
営業外収益		
受取利息及び配当金	76	97
その他	50	47
営業外収益合計	127	144
営業外費用		
支払利息	110	88
支払手数料	30	68
その他	47	63
営業外費用合計	188	220
経常利益	461	491
税金等調整前四半期純利益	461	491
法人税、住民税及び事業税	70	57
法人税等調整額	69	117
法人税等合計	139	174
四半期純利益	321	317
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	32	△69
親会社株主に帰属する四半期純利益	289	386

## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	321	317
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	75	492
繰延ヘッジ損益	6	△3
為替換算調整勘定	752	503
退職給付に係る調整額	△3	186
その他の包括利益合計	830	1,178
四半期包括利益	1,152	1,495
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	751	1,319
非支配株主に係る四半期包括利益	400	176

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I. 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Casting Field	Environment Field・環境 エンジニア リング	Environment Field・機能 材料	計				
売上高								
鋳物	16,681	—	—	16,681	—	16,681	—	16,681
環境エンジニアリング・環境	—	1,122	—	1,122	—	1,122	—	1,122
環境エンジニアリング・機械	—	829	—	829	—	829	—	829
機能材料	—	—	750	750	—	750	—	750
ソーラー	—	67	—	67	—	67	—	67
その他	106	—	1	108	18	126	—	126
顧客との契約から生じる収益	16,787	2,019	751	19,558	18	19,576	—	19,576
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	16,787	2,019	751	19,558	18	19,576	—	19,576
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	—	0	—	0	△0	—
計	16,787	2,019	751	19,559	18	19,577	△0	19,576
セグメント利益又は損失(△)	493	42	45	581	△0	581	△120	461

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△120百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△169百万円、営業外収益が127百万円、営業外費用が△78百万円含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項  
該当事項はありません。

## Ⅱ. 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Casting Field	Environment Field・環境 エンジニア リング	Environment Field・機能 材料	計				
売上高								
鋳物	15,462	—	—	15,462	—	15,462	—	15,462
環境エンジニアリング・環境	—	2,259	—	2,259	—	2,259	—	2,259
環境エンジニアリング・機械	—	936	—	936	—	936	—	936
機能材料	—	—	515	515	—	515	—	515
ソーラー	—	66	—	66	—	66	—	66
その他	88	—	—	88	18	107	—	107
顧客との契約から生じる収益	15,551	3,262	515	19,329	18	19,348	—	19,348
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	15,551	3,262	515	19,329	18	19,348	—	19,348
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	—	0	—	0	△0	—
計	15,551	3,262	515	19,329	18	19,348	△0	19,348
セグメント利益又は損失(△)	455	163	2	621	△3	618	△126	491

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△126百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△157百万円、営業外収益が144百万円、営業外費用が△113百万円含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項  
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

当社は2023年12月27日開催の取締役会において、株式会社小口合金鋳造所の全株式を取得し、子会社化することについて決議いたしました。また、同日付で株式譲渡契約を締結し、2024年1月9日付で全株式を取得いたしました。

詳細につきましては、2024年1月9日付で公表いたしました「株式会社小口合金鋳造所の株式の取得（子会社化）に関するお知らせ」([https://www.kogi.co.jp/assets/pdf/ir\\_other\\_2024\\_04.pdf](https://www.kogi.co.jp/assets/pdf/ir_other_2024_04.pdf))をご覧ください。